

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームिकासミ

提案内容	提案名	超一丸地方都市鯖江		
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームिकासミ		
	提案内容	東京にいる鯖江出身者のつながりを広げ、鯖江に人が戻るきっかけをつくる		
	概要	<p>東京に出た大学生は鯖江市とのつながりがなくなる ⇒福井の県人寮を活用 例)明倫学舎:福井県出身の男子学生寮で毎年新生が入り、いつでも会議ができる</p> <p>⇒二世の会をつくる・・・鯖江市内で自営業を営んでいる親を持つ人たちの会 活動内容:実家の家業の悩みや問題についてじっくり話し合うことができる 目的:定期的な関わりを持つことで、鯖江にいらなくても鯖江とつながってられる</p> <p>⇒武田舞彩さん(鯖江市出身でアイドルグループGEMのセンター)を応援することでつながる ・GEMの衣装シェア100%:鯖江産繊維を提供して衣装を作る ・鯖江の人や団体に応援するファンクラブを結成する ・一日市長や吹奏楽フェスティバルに呼ぶ ○市民が一人ひとりお互いにつながることで人が戻る</p>		
期待される効果	・一人ひとりが鯖江とのネットワークを維持する中で鯖江に人が戻るきっかけになる			
具現化検討部署	秘書企画課	情報広報課	商工政策課	
判断	一部採択	一部採択	採択	
採択内容	武田舞彩さんを吹奏楽フェスティバルのゲストに迎える	鯖江ブランド大使のPRを行う	武田舞彩さんの衣装に鯖江産繊維を提供する	
形態	既存事業に組入れ	既存事業に組入れ	既存事業に組入れ	
採択年度	新年度(H27年度)から実施	今年度(H26年度)から実施	開始年度未定	
検討結果	事業詳細 または 不採択理由	平成27年度の吹奏楽フェスティバル実行委員会にて協議する。	明倫学舎にいる鯖江市出身の学生に、鯖江ブランド大使についての説明文を送付する。就任を希望する学生に、鯖江ブランド大使認定証やパンフレット等を送付し、鯖江市のPRに努めていただく。	必要に応じて、鯖江繊維協会と協議のうえ鯖江産繊維を提供する。

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チーム煮たまご

提案内容	提案名	夫婦しあわせ講座
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チーム煮たまご
	提案内容	夫婦を対象にした講座を開き、相互理解を深めて離婚率を減少させる
提案内容	概要	<p>福井県内9市のうち、鯖江市の婚姻率は7位、離婚率は1位(平成22年度) 離婚する夫婦の6割は結婚から5年以内</p> <p>⇒5年間夫婦しあわせ講座開講 5年を乗り越えれば離婚率を減少させられる</p> <p>①互いの価値観を共有する 結婚を決めた理由を再確認し、相手の考えをきいて相互理解を深める →こんな人だと思わなかったという事態を回避</p> <p>②5年間の生活ビジョンの可視化 人生設計のプロフェッショナルである生命保険会社が講義を担当する</p> <p>⇒夫婦が長続きして出生数が増加する</p>
	期待される効果	・夫婦仲を良好にすることで出生数が増加し、鯖江市の人口増につながる
具現化検討部署	児童福祉課	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	
	形態	既存事業に組入れ
	採択年度	今年度(H26年度)から実施
事業詳細または不採択理由	<p>これまで子育て支援センターで、男性の子育てへの参加を醸成するために就園前児童の父親を対象に子育て体験講座「お父さんデー」を実施しており、今年度からは、「ファミリーデー」と名称を変更し、夫婦でも参加できるように拡充し実施している。今回の提案の趣旨を十分生かし、子育てという視点ではあるが、「ファミリーデー」によって、夫婦仲睦まじく楽しく子育て体験する中で、子育てすることの喜びを感じてもらい、第2子、第3子の出生へとつなげていく。</p>	

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チーム桜餅

提案内容	提案名	鯖江発〇〇向け眼鏡ブランド「ぐらすこ」	
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チーム桜餅	
	提案内容	ペット用の鯖江オリジナル眼鏡ブランドをつくる	
	概要	<p>眼鏡をかけるのは人間だけなのか →ペット用眼鏡 アメリカのBarkerというペット向けファッションメガネ会社が創業1年で年商10億を達成</p> <p>先進市場 ・DOGGLES: 犬用ゴーグル、ホコリや紫外線から守る ・WARBY BARKER: かわいさを追求したモデル</p> <p>ペット用眼鏡の消費者が求めていること ①ぴったりしていて外れないこと→鯖江に利点 ②ペットにとって異物感がないこと→鯖江に利点 ③ビジュアルやかわいさ</p> <p>目標 ・世界中のペットが鯖江の眼鏡を使う ・犬用ウェアラブルメガネの開発により人間と犬が思いを通わせることができる ※第7回地域活性化プランコンテスト 最優秀賞・オーディエンス賞</p>	
期待される効果	・ペット用オリジナル眼鏡が普及することにより鯖江の技術のすばらしさが広まり、誇りが持てる		
具現化検討部署	商工政策課	情報広報課	
検討結果	判断	採択	採択
	採択内容	民間レベルでのペット用の鯖江オリジナル眼鏡ブランド事業実施にあたり、「めがねのまち鯖江」としての側面支援(事業マッチング支援、事業PR)	アプリコンテストにペット部門を設ける。
	形態	新規事業として実施	既存事業に組入れ
	採択年度	開始年度未定	今年度(H26年度)から実施
	事業詳細または不採択理由	民間レベルで事業具現化に向けて検討中。ペット用の鯖江オリジナル眼鏡ブランド作成事業を企画した学生が、眼鏡業界を主とする産業界の関係者と実現性を検証しながら、事業内容を精査し、具現化を検討するうえで、必要に応じて市が側面支援する。「めがねのまち鯖江」としての側面支援(事業マッチング支援、民間企業の取組内容PR)	毎年アプリコンテストを実施しており、次回は平成27年1月から募集を行う予定となっている。議会の一般質問で、めがね活用のアイデアコンテストの提案があり、同時に実施する予定である。その中に、ペット用めがねのアイデア部門を設ける。

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームししゃも

	提案名	sava e dance?～商店街の異空間、非日常へ～	
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームししゃも	
提案内容	提案内容	満月の夜に商店街で仮面舞踏会を開催し、素性を隠してトークゲームなどをする	
	概要	<p>満月の夜に商店街に集い仮面舞踏会を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素性を隠してトークゲーム ・仮面ミスコン ・正体当てゲーム ・仮面合わせ ・ジャズライブ・・・ムードを高める <p>⇒仮面を合わせることで眼鏡のつけ心地の良さを実感できる ⇒いままで眼鏡をつけなかった人も眼鏡をかける機会が増える</p> <p>参加方法 商店街加盟店での合計1,500円分の買い物で「仮面」が1枚もらえる 当日券は2,000円で購入できる 対象：20歳以上の独身男女 ⇒商店街の日常的な買い物につながる ⇒若者の出会いが生まれる</p>	
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街での買い物によって仮面舞踏会の参加券を得られるという仕組みにすることで商店街での日常的な買い物につなげることができる。 ・20歳以上の男女を呼び込むことで出会いが生まれ、商店街にネットワーク、コミュニティ機能をもたらす。 	
	具現化検討部署	商工政策課	
検討結果	判断	一部採択	
	採択内容	商店街に集い仮面舞踏会を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・素性を隠してトークゲーム ・仮面ミスコン ・正体当てゲーム ・仮面合わせ
	形態	既存事業に組入れ	
	採択年度	新年度(H27年度)から実施	
	事業詳細または不採択理由	<p>平成26年度より中心市街地商店街の若手商店主が実行委員会を立ち上げ、商店街を会場にダンスコンテストを開催しており、「めがね美少女コンテスト」も行った経緯がある。参加者負担金の一部を鯖江型地域通貨ハッピーにて参加者に還元し、会場となる商店街内にて買い物や飲食をしてもらうように工夫をしている。</p> <p>平成27年度以降もダンスコンテストの開催を予定しており、満月の夜に開催することや参加者を独身男女に限定することは困難であるが、イベント内容を協議するなかで取り入れることが可能である要素は若干でも取り入れていくように実行委員会に働きかけていきたい。</p>	

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームごはん

提案内容	提案名	移住？ 河和田でしょ
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームごはん
	提案内容	河和田地区への移住サポートやアフターケアを行う「ヨソモノ課」をつくる
提案内容	概要	<p>河和田地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然、伝統、アートキャンプなどの魅力がある ・人のあたたかさ、住みやすさがある ・移住先進地である徳島県神山町と似ている（中山間地域、ICT、オープンな雰囲気など） <p>全国的に地方へ移住したい若者が増えてきている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の多いところで子育てがしたい、制作活動がしたい <p>鯖江市の情報量が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古民家が多いのにもったいない ・空き家バンクがあるのにうまく活用できていない ・河和田ならではのさまざまな魅力とマッチした移住の推進体制がとられていない <p>◎ヨソモノ課・・・移住した方で作る団体でJK課やOC課のようなもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住サポート：河和田の魅力発信、移住希望者の電話相談に応じる、活動をブログで発信 ・アフターケア：移住後の悩みを共有し、相談相手になる、イベントと一緒に参加するなど
	期待される効果	・魅力的な人が河和田地区に移住し人口増加につながる
具現化検討部署	秘書企画課	
検討結果	判断	一部採択
	採択内容	空き家・企業情報等の提供、移住者の生活面でのサポート
	形態	新規事業として実施
	採択年度	新年度（H27年度）から実施
	事業詳細または不採択理由	<p>うるしの里かわだ元気再生プロジェクトの推進母体である、うるしの里かわだまちづくり協議会において、空き家情報や企業情報などを収集・管理し、移住希望者に対する河和田での生活提案をWEB等で発信していく。</p> <p>さらに、移住者に対しては、河和田では”先輩”にあたる若者たちの協力のもと、暮らしのサポート役として、職・住のつなぎ役となるコーディネーター的人材を育成していく。</p>

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームロールケーキ

提案内容	提案名	公園を作りませんか？-You are main players of Sabae City!!-	
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームロールケーキ	
	提案内容	大谷公園を市民の理想の公園にする	
	概要	<p>鯖江市の3つの都市公園：西山公園、中山公園、大谷公園 →大谷公園は1日50人の利用、空間は広いが中身がなく、未完成⇒市民で育てる公園</p> <p>◎ベストチョイスアワード事業 遊具の候補を鯖江市のホームページに掲載し、市民が投票する 効果：市民が思い描く大谷公園を作り上げ、公園に対する愛着がうまれる</p> <p>◎メモリアルツリー事業 市民の大切な記念日に思い出の木を植える（結婚や出産などの記念日） 効果：記念樹を植えるときや成長確認で公園に来る頻度が増える</p>	
期待される効果	・市民の理想に沿った公園をつくることができ、大谷公園の来園数が増える		
具現化検討部署	環境課	都市計画課	
検討結果	判断	一部採択	不採択
	採択内容	市民植樹祭案内に「記念植樹として参加しないか」という主旨の内容を追記して参加者を募集する。	
	形態	既存事業に組入れ	
	採択年度	新年度（H27年度）から実施	
	事業詳細または不採択理由	<p>認知度が低い点については、立待地区近松まつりウォークラリーとタイアップ出来ないか協議する。 植樹祭は地球温暖化防止対策として、「ドングリからの森づくり」事業の一環で実施しており、可能な限り、混植、密植を行っている。この中で、個人的な記念植樹分を識別することは不可能である。しかし、年度毎の植樹エリア地図を作成したり、看板設置するなどして、植樹したエリアを分かってもらうことは可能である。</p>	<p>「実のなる公園大谷公園」は、体験学習型の公園を目指し平成25年度に完了しており、新規での遊具設置（ベストチョイスアワード）については考えていない。 記念植樹事業については、環境課において小学生の植樹以外に市民植樹祭も行っている。</p>

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームナッツ

提案内容	提案名	鯖江新撰組		
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームナッツ		
	提案内容	市内3中学校の生徒会を中心に地域性のあるイベントを企画・実行する		
	概要	<p>中学生世代・若者世代が社会参加に乏しい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生世代: 子供会(義務的だが社会参加する機会がある) ・高校生世代: 鯖江市役所JK課 ・中年世代: OC課をはじめ積極的な世代 <p>⇒中学生が社会参加できるフィールド作りが必要 小学生で培った社会参加の意識を持続させたい。中学生自身がやりたいという気持ちがある。 ⇒若者世代として青年団が中学生をサポート 力を持っていてまとめることができる。サポートという形で中学生とつながりを持ちたい気持ちがある。</p> <p>◎鯖江新撰組・・・市内3中学校生徒会を核に、地区青年団がサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に目を向けた活動: 地域全体を巻き込み、地域住民が喜びそうなものを企画 ・季節性のあるイベントの運営 ・新撰組が自分たちの判断でイベントを企画 <p>※第7回地域活性化プランコンテスト 優秀賞</p>		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が地域のことを語り合える環境が形成され、若者が実感を持った企画が増えることで地域住民が地域の活性化を実感できる 			
具現化検討部署	学校教育課	生涯学習課		
検討結果	判断	不採択	一部採択	
	採択内容		市内中学生と青年団が連携した事業	
	形態		既存事業に組入れ	
	採択年度		新年度(H27年度)から実施	
	事業詳細または不採択理由	<p>生徒会活動は、学習指導要領にもある教育課程内で行われるものです。生徒自身の学校生活の充実・発展、学校生活の改善向上を目指す活動を第一義として、地域ボランティア活動への参加等学校外の活動も挙げられます。この学校外活動についても、教育的ねらいを十分吟味し、学校教職員全体の共通理解と適切な指導の下に、家庭や地域との連携・協力を十分に図りながら、生徒の自主的、自発的な活動が助長される必要があります。活動の教育課程上の意味づけと現状把握ができていません。</p>	<p>中学校生徒会は難しいが、中学生の子どももジュニアリーダーと連合青年団がそれぞれ関わる事業に参画、共同しての事業実施を検討し、若者層による地域活性化および人材育成を目指す。</p>	

平成26年度 学生提案具現化にかかる関係部署検討調書／チームパイナップル

提案内容	提案名	さばえからはじまる日本男児総イケてる化計画
	提案者	第7回鯖江市地域活性化プランコンテスト／チームパイナップル
	提案内容	男塾合宿を開催し、鯖江市の男性の魅力を向上させる
	概要	<p>地域活性化＝幸せを感じる＝恋愛 事前調査：鯖江市には男性雑誌がなく、おしゃれではない 18歳～35歳のイケてる男性が増えれば人口も増える 市民へのインタビューからイケてる男子とは、外見がおしゃれで積極性があり、器が大きい人</p> <p>⇒男塾合宿（限定10人を対象に2泊3日で誠照寺に宿泊して魅力をアップさせる） 運営はチームパイナップルと学生団体with</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滝にうたれる、誠照寺で座禅体験 ・眼鏡を使ったファッションコーディネート、女性からファッションチェックを受ける ・わらしべ長者で積極性を身につける <p>※第7回地域活性化プランコンテスト 優秀賞</p>
期待される効果	・鯖江市の男性の魅力が向上することでおしゃれな男性が増え、人口増加につながる	
具現化検討部署	担当課なし（学生団体withが独自の企画として実施予定）	
検討結果	判断	
	採択内容	
	形態	
	採択年度	
	事業詳細または不採択理由	